

2026年(令和8年) 1月1日発行 第439号



Let's 生涯学習 1月号

串戸市民センターだより

ホームページ
はこちらから

発行元 串戸市民センター
〒738-0033 串戸2丁目13番13号
TEL 0829-32-2096
FAX 0829-30-2055
<http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/site/kushidosc/>

開館時間 9:00～21:30
串戸地区の人口と世帯数(令和7年12月1日現在)
男性1,972人 女性2,056人 合計4,028人 2,110世帯

1 月

1木	休館日(元日)	16金	まんぼサークル串戸
2金	休館日	17土	
3土	休館日	18日	
4日	新年互例会 (串戸地区自治協議会)	19月	
5月		20火	
6火		21水	乳幼児学級スイミー
7水		22木	楽しく健康体操
8木	おはなし会 楽しく健康体操	23金	スマホ相談室
9金	スマホ相談室	24土	串戸ワイワイ土曜朝市
10土	串戸ワイワイ土曜朝市	25日	
11日		26月	
12月	休館日(成人の日)	27火	
13火	新春 唄と健康のギター漫談	28水	乳幼児学級スイミー 串戸ふれあいサロン
14水	乳幼児学級スイミー 串戸ふれあいサロン	29木	
15木	楽しく健康体操	30金	
		31土	



新年明けましておめでとうございます。
皆様 おだやかにお正月をお過ごしのことと思います。
今年は午年。「無事これ名馬」の言葉にあるように、当たり前の日常が続くことが何より幸せなことだと思います。串戸市民センターが皆様にとって居心地のよい場所となれますように、日々精進しながら職員一同取り組んでまいります。昨年と変わらぬご厚情をよろしくお願い申し上げます。皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。

串戸市民センター職員一同



主催事業のお知らせ

講座のお申込みは、各申込みフォーム、串戸市民センター窓口またはお電話にて(32-2096)
受付時間 平日9時～17時まで

新春「唄と健康のギター漫談」

～唄と笑いと健康と～

日時 1月13日(火)
13:30～15:00

場所 串戸市民センター 大研修室
参加費 無料

講師 風呂哲州さん
(作詞作曲実演職人)

対象 どなたでも
定員 50名



♪風呂哲州さんプロフィール♪

1968年広島市生まれ。

小学生の頃から落語や漫才に親しみ、さだまささんの影響で歌の世界にのめり込み、大学卒業後、嘉門達夫さんの付き人として4年間修行。

現在は広島演芸協会会員。日頃から公民館や集会所等で、昭和歌謡・童謡・唱歌をまじえたギター漫談で生き甲斐作りや介護予防や防犯啓発などの活動を行っている。

バレンタインコンサート

ひと足早いバレンタインの贈りもの
心温まるJAZZの音色をお届けします♪

日時 2月8日(日) (開場13:30)
14時開演 15時30分終了予定

場所 串戸市民センター 大研修室
演奏 はつかいちJAZZオーケストラ
チェリーブロッサム21 のみなさん

対象 どなたでも
定員 70名

入場
無料

- ・ビギン ザ ビギン
- ・異邦人
- ・真珠の首飾り
- ・ルージュの伝言
- ・茶色の小瓶
- ・アパートの鍵貸しますのテーマ

脳トレ講座

日時 2月17日(火)
13:30～15:00

場所 串戸市民センター 大研修室
講師 串戸市民センター所長

対象 シニア
定員 20名

参加
無料

手話通訳、要約筆記

主催の講座等において手話通訳、要約筆記を希望される場合は、事前に市民センターまでご連絡ください。

第3回歴史講座

「村上海賊と宮島」

日時 2月24日(火)
13:30～15:00

場所 串戸市民センター 大研修室

参加費 無料

講師 秋山 伸隆 さん
(県立広島大学名誉教授)

対象 どなたでも
定員 70名



村上海賊(能島・来島・因島の三島村上氏)は、宮島では「沖家」(おきけ)と呼ばれていました。瀬戸内海最大の海上武力集団に対する一種の敬称です。この講座では、村上海賊と宮島の関係について考えます。

スマホ相談室

スマホの困りごと、お気軽にご相談ください。
毎月第2・4金曜日に実施しています。

日時 1月9日・23日(金)
10:00～12:00
(お1人20分程度)

場所 串戸市民センター
講師 当センター職員

令和8年度 乳幼児学級スイミー参加者募集！

子育ての喜びや悩みを、優しい先生と同じ年頃のお子さんを
持つ保護者と分かち合いませんか？

対象者：R7年4月2日～R8年4月1日生まれの乳幼児と保護者（これから出産予定の方もお申込みできます）

定 員：15組程度

開催日：毎週水曜日10時～（1時間～1時間30分）

開催期間：令和8年4月中旬～翌年3月中旬（8月はお休み）

内 容：親子で一緒に歌や身体遊びを楽しみましょう♪
かわいい成長も心配事も気軽に分かちあいましょう♪
育児の分からないことは楽しく学びましょう♪

講 師：高園 麗さん

月会費：1500円

入会費：1000円



★必要事項★

- ①お子さまの名前
- ②ふりがな
- ③お子さまの生年月日
- ④お子さまの性別
- ⑤参加保護者の名前
- ⑥ご住所
- ⑦電話番号



R8年3月13日（金）締切
定員になり次第、受付終了します。

令和8年度 クラブ登録について

令和8年度市民センタークラブの登録を受け付けます。
新しくクラブを始めようと考えておられる方は、市民センターまでご相談ください。

【クラブ要件】

- ・会員は5名以上、市内在住在勤者が半分以上である。
- ・規約を持ち、代表者、会計が設置されている。
- ・非営利活動であること。
- ・市民センターの行事には積極的に参加すること。
- ・学習成果を地域に還元すること。

受付締切 令和8年3月31日（火）
※年度途中の登録は原則できません

主催事業報告

国際理解講座「マレーシアへようこそ」



11月29日（土）に廿日市市国際交流協会共催のもと国際理解講座「マレーシアへようこそ」を開催しました。現在、市立広島大学に留学中のニザールさんを講師としてお招きしマレーシアの文化や衣装、料理などを体験しました。参加された方は大人も子どもも興味津々で講座を通して他の参加者や講師の方たちと自然と質問や会話を交わす姿が見られました。

クリスマスリース講座



12月1日（月）日本フラワーデザイナー協会の中島昌子さんを講師としてお迎えし「クリスマスリース講座」を開催しました。リースの材料となるブルーアイス、ユーカリ、スギなどのグリーンの香りに包まれた研修室は一気に癒しの空間に。土台にグリーンや松ぼっくり、リボンを加え、素敵なリースが完成しました。

廿日市市市民センター基本方針（案）に関する意見募集

今年度、これからの時代において、市民の暮らしを豊かにし、地域社会を支えるために、市民センターが目指す姿、その実現に向けて市民センターの機能や役割などを明確にし、市民の皆さまとともに進めていくため、「廿日市市市民センター基本方針」の策定を進めています。

このたび、「廿日市市市民センター基本方針」の案がまとまりましたので、本案に対するご意見を募集します。

閲覧及び様式の配布場所	期間	提出方法
・市ホームページ ・廿日市市役所2階まちづくり支援課 ・廿日市市役所2階 行政資料室 ・各支所情報公開コーナー	1月5日（月）～2月4日（水）	・電子メール ・郵送 ・持参

※詳しくは二次元コードから市ホームページをご確認ください。

【問合せ先】廿日市市まちづくり支援課 電話30-9138（直通）



ロビー展

七尾中学校家庭科部
美術部
（1月中旬まで）
風の会（写真）
（1月18日～）

ぜひご覧ください！

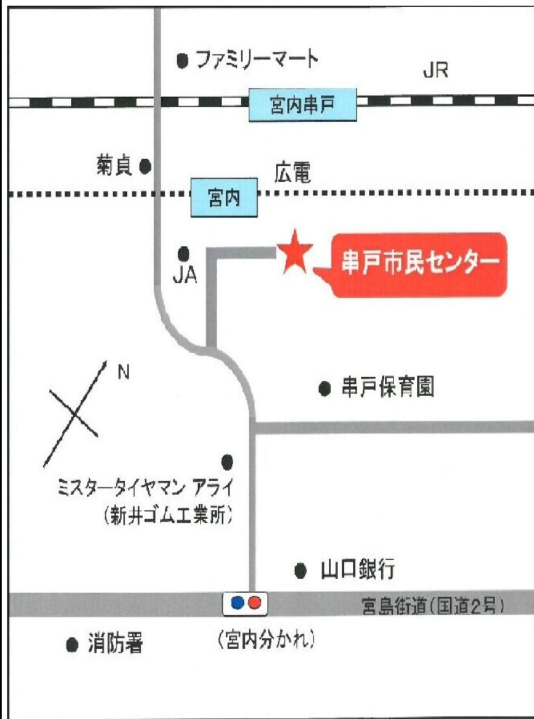
まんぽサークル串戸

と き 1月16日（金）9時集合
行き先 広島市内西国街道めぐり（本通り・猿猴橋経由）
（歩行距離約7km）
集 合 広電西広島駅「KOI PLACE」広場スタート
⇒ JR広島駅ゴール
持参品 会費100円（保険料含む）飲料・タオル・帽子・マスクなど
締 切 1月14日（水）午前中



串戸市民センター

住 所：廿日市市串戸2丁目13番13号
TEL：（0829）32-2096
FAX：（0829）30-2055
E-mail：info@kushidocc.jp



おはなし会

1月8日（木）
10:30～11:00

串戸市民センター図書室

図書ボランティアによる
絵本の読み聞かせ会です。
予約不要ですので、お気軽にお越しください。

串戸地区 かきまつり・文化祭

と き 2月1日（日）10:00～14:30
飲食の販売開始時間は10:30から（小雨決行）

ところ 串戸市民センター駐車場/大研修室

地域の方・クラブ生の演芸発表

焼き牡蠣、串焼き、竹酒、うどん
ポップコーン、牡蠣めし、カキフライ
餅、餅つき、綿菓子、みかん詰め放題

主催：串戸地区自治協議会、かきまつり実行委員会



新年を迎えて思うことは、自分はあと何年生きられるかということです。知人の訃報を聞くにつれ、一時期でも共に過ごした親しい人がいなくなることの寂しさがつのります。これからの人生はサバイバル。いつか自分にもその日が訪れます。

日本人男性の平均寿命が約81歳、女性は約87歳です。自分にはまだ遠いことのように感じます。しかし、健康寿命（健康上問題なく生活できる年齢）になると男性は約73歳、女性は約75歳になります。あっ、もうすぐだと思ってしまいます。大事なことは、いかに健康

で長生きできるかどうかです。

家の畑で農作物を育てる、小学生を相手にバレーボールの指導をする、友人とゴルフを楽しむ、たまにドライブ旅行する、そして市民センター所長として職責を果たすということが私の主な日常です。健康に過ごせることに感謝しながら、今年もこの日常を変わりなく送ることで、次の年の正月を迎えたいと思います。

市民センターは、シニア世代の方がたくさん利用されます。センターに来ることができるというのは何よりも健康な証拠。今年も元気に笑顔で楽しみましょう。